

2021年12月
WINTER
第2号

iTOP, Kyushu Univ.
ENGAWA Project

エンガワ

あなたとつながる、縁側系広報誌。



TD9ビフォーアフター

“ENGAWAの縁側”DIY!



榎野 裕太
じょーじ

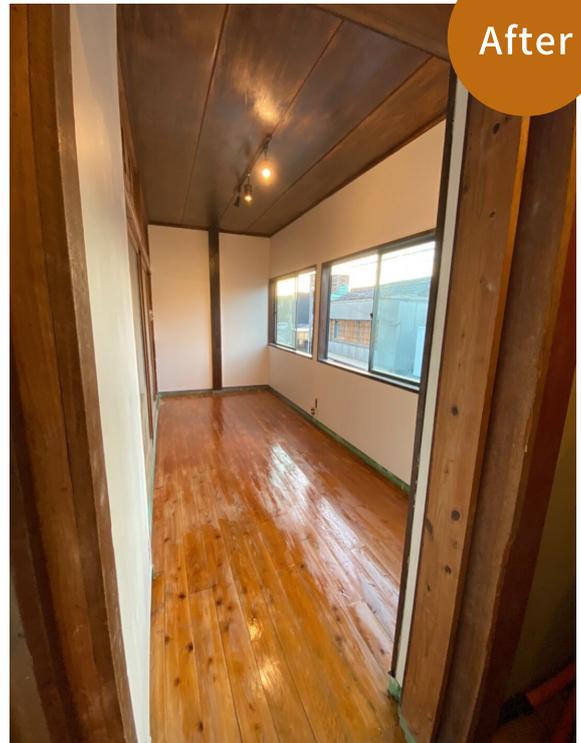


井関 たえ
たえ



Before

みんなの友達の家に、
団らんの場所を。



After

シェアハウスTD9 — そこは私たち学生の居場所であり、和気藹々とした雰囲気があります。
この家にみんながくつろげる“縁側”をつくりたい。そんな思いから、今回のDIYがスタートしました。

場所は2階にある物置と化した廊下。ここを暖かい光が差し込む古民家カフェのような空間へと、劇的に変化させたのです。

今回最大の難所は、壁一面の石膏ボード貼り。計測、切断、運搬、固定の作業を続けること丸一日、とても大がかりな作業となりました。中には夜を徹しての作業もありましたが、完成した時の達成感は忘れられません。

明るい縁側で団らんのひと時を過ごしたり、お昼寝をしたり…と、ここがみんなの新しい居場所となることを期待しています！

column file02

まえばる散歩～噂の薩長同盟～

“前 原商店街に薩長同盟の三人がいる”
ある日先輩が私にそう言った。

ほんとうに！？薩長同盟と言えば、坂本龍馬、木戸孝允、西郷隆盛の三人。
日本史をほぼ忘れかけている私でもその姿絵は知っている。まだ前原の新参者の私でもあの商店街は何度も通ったことがあるのだ。前原にそんな面白いものがあるなら見つけなければ！！
思い立った私は商店街へと飛び出した。よく知っている一番広い通り。注意深く見てみるとなんとあの西郷どんがいるではないか！西側の方向からしか見えないう店の屋根に、おめめをばっちり見開いた彼はいた。こんな見やすいところにあったのに…。
ほか二人も私がよく使う道沿いに発見した。私が前原マスターになる日はまだまだ先のようだ。きっと私が見逃しているこの地域の面白いところがほかにも沢山あるに違いない。それにしても、一体なぜ三人はそこにいるのか…。いずれ調査してみたいところである。



山根 春佳
はーちゃん



ひぐに密着! NPO設立奮闘日記

ENGAWA Project、NPO法人になります。

インタビュー



吉村 有和
ゆうわ



日隈泰雅(ひくまたいが)。あだ名はひぐ。2002年、福岡県北九州市に生まれる。九州大学工学部地球環境工学科に在籍中。今年4月からENGAWA Projectの財務チームを務めている。NPO法人化を中心になって進めた人物。サッカーが大好き。週一回は必ずリアルタイムで試合を観戦するのがマイルール。

吉村.. こんにちは、ひぐさん!
今日はENGAWAがNPOになるというお話を聞いたので、そのお話を聞いていきたいと思えます。よろしくお願ひします!
日隈.. よろしくお願ひします!

01. なぜNPOになるのか? 学生サークルの挑戦

吉村.. そもそも、なぜ今までは学生サークルであったENGAWAがNPOになることになったんですか?

日隈.. そうですね、理由はいくつかあって、まず最初に、今まではENGAWAの発起人である崇人さんを中心に活動してきたけどいつまでも資金面も運営面も崇人さんだけに頼るわけにはいかないと考えたからです。その点でNPOは、設立費用や税金の面でかかるとお金が少なかったり、寄付金を集めやすかったりと都合でした。

あとは、NPOは一般企業とは違って利益を求めたりしないから、活動によって地域に貢献することが目的であるENGAWAにぴったりだったというのも大きな理由です。もちろん、NPOになることでENGAWAの活動がより大きくなって地域により大きな影響を与えることも期待しています。

02. ひぐの苦勞と苦惱 「結局自分は何も知らないんだ..」

吉村.. なるほど! ENGAWAがNPOになるメリットがたくさんあるんですね。でも、学生サークルがNPOになる、ということは大変なことも多かったんじゃないですか?

日隈.. はい。とにかく、自分に一般的な知識がなかったから、資料を読んでも知らない用語が出てきたり、知っている用語でも意外とその仕組みを知らなかったり結局自分は何も知らないんだってことを痛感しました。それに加えて、自分に読解力がなくて説明を読んでも構造を理解するのに時間がかかりました。

書類の作成や行政機関への手続きの仕方などにも苦勞しました。書類の作成では、特に定款(サークルという以前の組織体系からどのようにNPOの形式に合わせるか)が難しかったです。

吉村.. テイカン.. ですか? 初めて聞きました(笑) 一言にENGAWAをNPOにする、といってもとても大変なことですよね..。それを黙々と行うひぐさんすごいです!



03. ひぐが考えるこれからのENGAWA 地元へ愛されるサッカークラブのような存在へ

吉村.. NPOになったこれから大変になりそうなことかありますか?

日隈.. ん..。これからは、經理の仕組みを整えたり、地域の皆さんとの繋がりを強めたり収益を上げるための仕組みを考えて金銭面で持続可能にしたり、とたくさんありますね。

吉村.. NPOを設立する前も後も大変なことはたくさんありそうですね..。

では、最後の質問となりますが、NPOになったENGAWAとしての今後のビジョンを教えてください。

日隈.. 個人的な話にはなりますが、僕はサッカーが好きで、地元のスタジアムによく足を運ぶんです。特にみんなで一緒に応援している雰囲気が好きなんです。クラブや住んでいるまちに誇りを持っていて、その感情をみんなが共有できる場だからこそ、足繁く通う人が多いのではないかと思います。世界で一番観客を集めているドイツ・ブンデスリーガというサッカーリーグがあるのですが、観客を集める一つの要因として、リーグに所属しているドイツのクラブは全てNPOを母体として運営されていて、地域と身近な関係を築いていることがあります。そうした理由から、NPOになってより地域に根付いた身近な活動を行なっていくことで、形態は違えどドイツのサッカークラブのように、将来的に前原の人々にとって誇りに思い、応援してもらえるような存在になれると信じています。

吉村.. なるほど。今後のENGAWAのさらなる活躍に期待です!

今日はありがとうございました!

あなたとつながる、縁側系広報誌。

縁側は古くから、外の空間と部屋との間にある曖昧な空間として日本家屋独自の意匠となっています。ご近所さんを出迎え話し込んだり、天気の良い日に日なたぼっこをしたりと、気軽な交流や憩いの場として親しまれています。

そのようななにかを大学生として作りたい。

それはありふれた建物としての縁側でも、型にはまったSNSでもなく、

手紙のような手渡しされる広報誌なのではないかと考えました。

これはみなさまに見守っていただきたい、私たちのちょっとした挑戦です。

the editors 得津 京佳 / 前田 佳凜 / 黒木 恵介 / 山根 春佳
榎野 裕太 / 井関 たえ / 日隈 泰雅 / 吉村 宥和



ENGAWA Project
from iTOP, Kyushu Univ.

九州大学公認地域活性化団体iTOPで活動しているプロジェクトのひとつ。「筑前前原を学生団体に」を使命に、シェアハウスやイベントスペース、学生居酒屋の運営を行っている。



@ENGAWAproject.maebaru



@engawa_project



@AprojectEngaw